12月25日
玄海原発
全基停止
丸4年

安倍政権と電力会社は
フクシマの犠牲を踏みにじるな！
再稼働を絶対許さない！

2011年12月25日に玄海原発4号機が止まりました。あれから丸4年、玄海原発はすべて止まったままです。

この期間、停電も起きず、原発が動かなくても電気が足りていることが誰に目にも明らかになりました。もう動かす必要もないのです。しかし、今、国と九州電力は玄海原発の再稼働に向けて着々と外堀固めを、市民の目に入らないところでやっています。

◆免震重要棟の建設を放棄

12月17日、九電は今年度中に作るとしていた川内原発の免震重要棟を作らないことを発表しました。

免震重要棟は2007年中越沖地震時の教訓に基づいて、泉田新潟県知事からの強い要請もあり、福島第一原発に設置されました。3.11の8か月前でした。地震の揺れに「耐える」耐震性だけでなく、「揺れ」自体から免れることのできる免震性があったからこそ、フクシマでは最前線で辛うじて対処することができたのです。東電社長自身が「あれがなかったらと思うとぞっとする」と国会で発言しました。

今年度中に建設予定としていた玄海原発の免震重要棟についても九電は「仕様の見直し中」というだけで工事は進めていないことが分かりました。テロ対処施設やベント施設などの設置期限も先送りするなど、市民の命の安全をことごとく無視しているのです。

◆1号機廃炉作業は被ばく労働の犠牲を伴う

12月22日、1号機廃炉計画が申請されました。廃炉は一般の解体作業のようにはいかず、被ばく労働を伴います。

①被ばく犠牲をしてもらう人が必ず必要だということを、電気を使ったものとして知らなければなりません。
②九電はこの事実を住民に説明すべきです。
③30年かかると簡単に言いますが、安倍首相も瓜生社長も私達も廃炉が全て完了したことを誰が確認できるのでしょうか。無責任な話です。
④脆性遷移温度98度で危険極まりない1号機の廃炉は当然ですが、再稼働のことが見え隠れします。
⑤廃炉のお返しに建て替え(リプレース)ということも言われていますが、「建て替え」＝新設など許されません。

◆核のゴミは未来へのツケまわし

11月20日、「乾式貯蔵施設」の建設を検討していると九電は発表しました。そもそも、使用済み核燃料や廃炉に伴う放射性廃棄物の最終処分方法も決まっておらず、原発は「トイレなきマンション」です。原発を動かせば動かすほど、10万年もの管理が必要な、厄介な核のゴミが増えます。これらをすべて未来の人々へ無責任に押し付けることになるのです。これ以上核のゴミを増やさないためにも、再稼働の動きをただちに止めなければなりません。再稼働のための貯蔵施設建設など論外です。

◆命を守れない避難計画

11月28日、玄海原発避難訓練が行われました。福島の現実を踏まえない、甘い想定の形ばかりの訓練でした。

避難計画は、複合災害の想定なし、受入体制は数合わせ、SPEEDIによる予測をやめ実測で「被ばく」してからの避難、苦難を押し付けられる要援護者、30キロ圏外の避難は計画もなし…など、実効性のない酷い計画になっているのです。

◆今こそNO！の声を！

今、安倍政権と電力事業者は、福島の甚大な犠牲を踏みにじり、なりふりかまわず全国各地の原発の再稼働を強行しています。

安倍首相は「国が責任をとって進める」と言いますが、東京電力福島原発事故では故郷を奪われ、命を傷つけられた人々への責任を誰も取っていません。取りようもありません！　田中俊一原子力規制委員会委員長は「原発は安全とは言わない」と開き直り。事故を起こしたら、放射能被ばくを覚悟せよと言っているのです。

国民をバカにするのもいい加減にしてほしいです。

原発は私達と未来の子ども達の命の懸かった問題です。再稼働を許したら、次に止まるのは事故の時かもしれません。私達は崖っぷちに立たされているのです。

今を生きる大人の責任として、原発をすべて止めるために、今こそ、声をあげていきましょう!

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
〒840-0844　佐賀市伊勢町2-14
TEL：0952-37-9212 FAX：37-9213
E-mail：saiban.jimukyoku@gmail.com
URL：http://saga-genkai.jimdo.com/

2015.12.25

あなたのチカラが必要です！

●座談会しませんか？

少人数で本音トークをしませんか。1人からでも、どこへでも行きますので連絡ください！

●事務所ボランティア募集中！

資料整理、チラシ印刷、手づくりグッズ作成etc…作業がいろいろあります。ご都合のいい時に30分でもおこしください!

連絡先：090-3949-2103

●行動への参加を！

九電は再稼働へ向けて全力投入。国がゴーサインを出す前に、山のようにある問題点を学習し、一人ひとりが行動をおこしましょう!

・佐賀県知事への要請、市町との話し合い
・九州電力への要請・交渉（1月下旬予定）
・政府交渉　国は私達の命を守ってくれない…　その酷さを自分の目で確かめてください!
・避難計画を検証しよう!　避難経路、要援護者・子ども・赤ちゃん・ペットの避難は?　安定ヨウ素剤、放射能の検査・除染etc…
・玄海町への戸別訪問

●会員になって支えてください

年会費　支える会会員5000円。サポート会員一口1000 円～。団体会員も大歓迎!

◆振込先：郵便振替口座 01790-3-136810
玄海原発プルサーマル裁判を支える会

あなたにも、私にもできる事はあります
①知ろうとすること
②知った事を、一人でいいから話してみる
③解らないことは、誰かに聞いてみる

解からないことがあったときは
電話してみてください
（頭に184で・・）

・九州電力　092-761-3031
・佐賀県庁　0952-24-2111
・玄海町役場　0955-52-2111
・原子力規制庁 03-3581-3352

裁判傍聴をお願いします！

私達は玄海原発を止めるための4つの裁判を919名の原告仲間とともに闘っています。
みなさんの注目が勝利を引き寄せます！

◆全基差止裁判・仮処分・行政訴訟
2月5日（金）佐賀地方裁判所

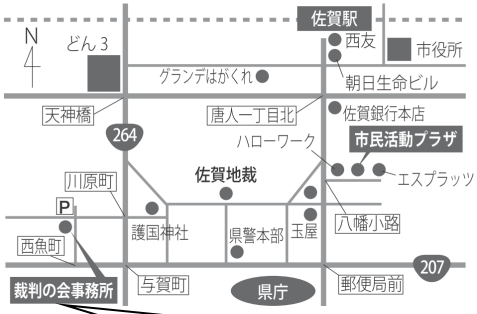
10:00　門前アピール
10:30　行政訴訟第8回口頭弁論
11:00　全基差止第15回口頭弁論
11:30　3号機仮処分大18回審尋
12:00　記者会見・報告集会

◆ＭＯＸ控訴審　第3回口頭弁論
2月29日（月）福岡高等裁判所

12:30　門前アピール
13:20頃　入廷
14:00　開廷
14:30　記者会見・報告集会

◆4月22日（金）佐賀地方裁判所

14:00　行政訴訟第9回口頭弁論
14:30　全基差止第16回口頭弁論
15:00　3号機仮処分大19回審尋



裁判の会事務所（伊勢町郵便局の北２軒目）

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会

〒840-0844　佐賀市伊勢町2-14
TEL：0952-37-9212 FAX：37-9213
mail：saiban.jimukyoku@gmail.com
http://saga-genkai.jimdo.com/
facebook

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会　申込書

原告・支える会　・　サポート会員　・　カンパ【いずれか○で囲んでください】　記入日　　年　　月　　日

※ふりがな		紹介者	
※名前		自宅電話	
※住所	〒	FAX	
		携帯	
eメール		入金額　　円　振込・現金	

情報交換用ＭＬ【■プル裁判】への参加希望	する　　しない